



4/29 レンゲ畑は大賑わい

今年で13回目となる「大賀茂れんげ祭り」が同地区のレンゲ畑で開かれました。親子連れを中心に多くの人が繰り出し、朝日子供太鼓の演奏やジャンケン大会、出店などで楽しい一日を過ごしました。



5/12 遊・viva! 外遊びスペシャル

今回は10種目に挑戦するチャレンジランニング大会。100名以上の子供たちが参加して「くつとばし」や「一人でバトミントン」などのおもしろ種目に挑戦しました。



5/9 高齢者・障害者の活動を支援

ダイハツ工業株式会社より下田市へ車椅子搭載スロープ付車両が寄贈されました。この車両は、身障者等の市主催行事への参加や高齢者生きがいプラザの活動などの支援のために使用してまいります。



5/11 安全運転に心がけましょう

春の交通安全運動初日、市内45箇所街頭啓発を実施。伊豆急下田駅前の国道ではのぼり旗を掲げ、通行中のドライバーや歩行者に啓発グッズを配り交通事故防止を呼びかけました。



5/1 区長さんに委嘱状交付

市民文化会館に於いて行政協力委員会議が開かれ、昨年度で退任された区長さんに感謝状が贈呈されました。また、39地区の区長さんに市長から委嘱状が手渡され、市との連絡調整などの協力をお願いしました。

LEISURE

1日	行政協力委員会議	15日	海水浴場水質検査
7日	交通指導員総会	16日	寿大学開講式
11日	臨時市議会	18~20日	第68回 黒船祭
11~20日	春の全国交通安全運動	22日	身体障害者福祉大会
12日	ミニ遊・viva (下田小学校)	27日	土砂災害防災訓練

下田市内の指定文化財 その23

下田市指定天然記念物

しもだまゝいまい

生息地 下田市内ほか
 指定日 昭和51年5月27日
 幕末期、ペリー艦隊に採集された下田のまゝいまいは、海を渡り、日本を代表する生物の一つとして米国で紹介されました。



しもだまゝいまい

まゝいまいとは
 かたつむりの学術上の呼び名です。大昔に水中から陸に上がった巻き貝の一種で、動きが遅く、移動力が小さいため、わずかな地形の相違によっても種類が異なっており、日本には約600種以上が生息していると考えられています。
 まゝいまいは雌雄同体で、梅雨時に土の中に小さな丸い卵を産みます。コケや菌類を好んで食べ、数回冬を越えて成

長します。
 ヨーロッパとは違い、日本にはまゝいまいを食用とする習慣は無く、むしろデングムシに角をだせと歌いかける童唄に代表されるように、身近な小動物として親しまれてきたようです。
 しもだまゝいまいの特徴
 殻が右巻き(殻の縁が右側)で、虎模様はつきりしており、黄白色(平地型)と紅色(山地型)の個体があることが特徴です。関東一帯に広く生息するミスジマイマイに比べてやや小さいと言われ、伊豆半島にのみ生息しているとされています。
 ペリー艦隊としもだまゝいまい
 嘉永7年(1854)、下田に來航したペリー提督率いる合衆国日本遠征隊の目的は、日本に開国を促すことでしたが、動植物の調査も任務の一つとしていました。遠征隊はさまざまな種類の動物や植物をスケッチしたり、採集したりし、本国へ持ち帰りました。下田で採集されたまゝいまいは、帰国後に貝類研究者ゼイに手



ペリー艦隊日本遠征記第2巻 (市立図書館蔵書)

渡され、採集地下田の名を冠した「しもだまゝいまい」として学会に発表され、世界に紹介されました。遠征隊が採集した貝類は今日でも米国の数カ所の博物館に大切に保存されており、「しもだまゝいまい」の学会発表は日本の近代的貝類研究を語る上で、重要な出来事の一つとされています。



日本遠征記第2巻挿図上の2段がしもだまゝいまい

6月1日よりあじさい祭りが下田公園で開催されています。青や紫の美しい紫陽花の陰に「しもだまゝいまい」を見つけてみてはいかがでしょうか。
 問合せ先
 教育委員会生涯学習課
 ☎5055

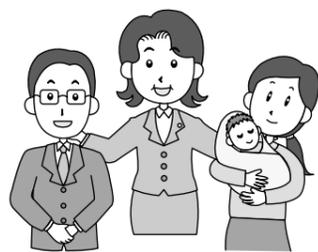
行政相談委員が二人になりました。



村山登美雄さん (下田市蓮台寺)

平成19年5月1日付けで、村山登美雄さんが総務大臣から行政相談委員に委嘱されました。既に委員として活躍している稲葉山治さんと二人(交代制)で皆様の相談をお受けすることとなりました。

定例相談所
 相談日・時間
 毎月第2・第4水曜日
 午前10時~午後3時
 (直近の相談日は、6月13日27日です。)
 原則として、相談は予約が必要ですが、
 会場
 市役所会議室
 その他
 行政相談委員は市民相談員を兼ねていますので、市民相談の中で行政相談をお受けします。



問合せ先
 静岡評価事務所
 ☎0542541100
 市民課市民係
 ☎22215